

名古屋大学(調査分析)

共同実施機関： 岐阜大学・国立女性教育会館

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

実施期間：R2年～R3年

【実施体制】

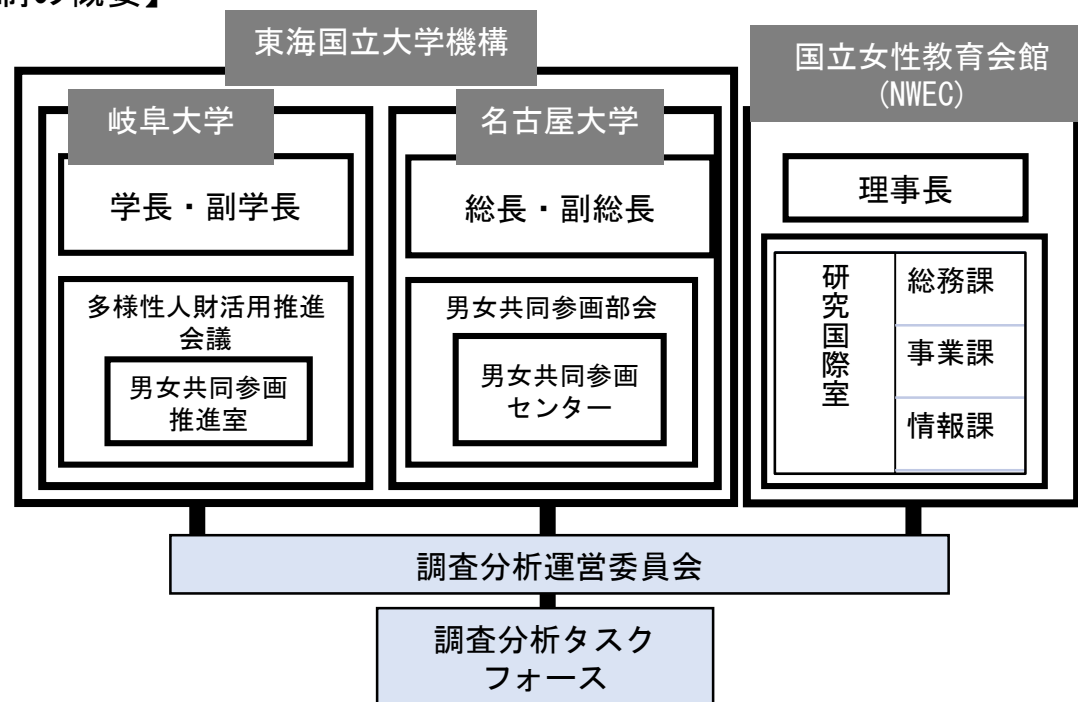
・「調査分析運営委員会」：本事業のために新設し、本調査分析を統括する。3機関より担当副総長・副学長・理事長を筆頭に、理系、文系、医学系のそれぞれの分野からジェンダー平等の推進における実績と見識を有する研究者、社会調査の実績と知見を持つ研究者、本事業に対し特にコミットする研究者等で構成し、調査分析タスクフォースの全メンバーを含めて編成する。

・「調査分析タスクフォース」：調査分析活動の中心となり実務に携わる。タスクフォースの構成は、3機関の実務代表者、本事業の予算で雇用する専任調査員2名、事務補佐員1名からなり、文献調査や海外調査等の実務及び分析を行う。

【体制の概要】

【特長】

1. 3機関の連携による相乗効果
2. 女性研究者の「水漏れパイプ」解消に資する取組の国際比較
3. アジア・欧米の海外大学先進事例の国際比較(執行部・理工系学部・人文社会科学系学部・医学部)
4. 日本の現状に即した取組の提示



【取組概要】

女性研究者の活躍推進には、キャリアパス（パイプ）の局面ごとに切り分けた対応ではなく、パイプ全体のあらゆる「水漏れ」箇所を防ぐことが重要。女性研究者の「水漏れパイプ」問題を解消するために、欧米およびアジアの大学における先進事例を中心に国際比較を行う。

1. 文献調査

- ・「水漏れパイプ問題」に関する先行研究、調査対象となる海外大学に関する文献調査

2. インタビュー調査

- ・大学執行部のイニシアティブ、人事選考におけるジェンダー格差解消に向けた取組、女性教員管理職養成の取組、女性ポスドク支援、ワーク・ライフ・バランス推進の取組

3. アンケート調査

- ・名古屋大学・岐阜大学・海外調査大学の研究者を対象に、キャリアパス・意識・組織文化について尋ねる。

4. 取組の普及と情報発信

【広報関係】

- ・2000年10月 男女共同参画に関するワーキング設立
- ・2003年1月 男女共同参画室を設立
- ・2006年4月 こすもす保育園を設立
- ・2007～09年度 文部科学省「女性研究者支援モデル育成」
- ・2009年度 あすなろ保育園を設立、学童保育所を設立
- ・2010～14年度 文部科学省「女性研究者養成システム改革加速」
- ・2014～16年度 文部科学省「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」
- ・2015年5月 国連UN Womenによる「HeForShe」を推進する世界の主要10大学に選出
- ・2016年9月 澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞を受賞
- ・2017年7月 男女共同参画センターに改組
- ・2017～21年度 文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」

【お問合せ】

機関名： 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学

所在地： 愛知県名古屋市千種区不老町

連絡先： 男女共同参画センター kyodo-sankaku@adm.nagoya-u.ac.jp

HP： <http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>